

単元名：環境にやさしい製品〔1コマ〕	学年：5,6年生
--------------------	----------

<p>1. 単元のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近なものから環境ラベルを探してその存在を認識するとともに、種類や意味を調べ、その役割を考える</li> <li>● 色々な商品に様々な環境配慮がなされていることを認識する</li> <li>● 消費活動を通じて環境に配慮する方法を学び(グリーンコンシューマー)、地域や家庭での活動に生かせるようにする</li> </ul>
---

<p>2. 準備物・教材：</p> <p>「参考図」、環境ラベルしらべ票、「エコエコ買い物大作戦」シート、筆記用具</p>
---

<p>3. 単元の指導計画：( 授業が複数回におよぶ場合に記入 )</p>
---------------------------------------

4. 学習の流れ	
学習活動	指導上の留意事項
<p>1. 環境ラベルしらべ 【参考図】を児童に配布し、家庭に帰って環境ラベルを探す 「環境ラベルしらべ票」に見つけた環境ラベルを切り取って貼り(マークの絵を描いてもよい) マークがついていた製品を記録する(家庭での作業)</p> <p>2. 環境ラベルしらべの発表 見つけた環境ラベルを各自発表する みんなが見つけていない環境ラベルを見つけた人は、みんなにそれを紹介する 見つけた環境ラベルについて授業でマークの意味を調べ、「環境ラベルしらべ表」に書き込む。</p> <p>3. 環境にやさしい消費活動について考える なぜ環境ラベルがついているのか考え、発表する 環境に配慮するため、どんな商品にどんな工夫がされているか考え、発表する 買い物をするとき、環境に配慮するためにはどのようなことに気をつければよいか考え、発表する みんなの発表を聞いた後、「エコエコ買い物大作戦」シートに各自がまとめながら書き込む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月に行ったスーパーマーケットの施設見学「環境たんけん隊」で簡単に行った環境ラベルしらべをもう一度思い起こす</li> <li>・ 環境ラベルは、消費者が環境にかかる負担の少ない製品やサービスを選ぶときの目安となるツールとして制定されている</li> <li>・ 商品の環境のための工夫には、次のようなものがある             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 長く使える</li> <li>(2) リサイクルされた製品</li> <li>(3) リサイクルしやすい</li> <li>(4) 容器や包装がリサイクルされている</li> <li>(5) 商品の包装が少ない</li> <li>(6) 繰り返し使える</li> <li>(7) 自然のことを考えて資源を使っている</li> <li>(8) 使う時に省エネを考えている</li> <li>(9) 燃やしたときに有害物質が出ない 等</li> </ol> </li> </ul>

<p>5. 評価の観点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 色々な環境ラベルを探すことができたか</li> <li>● 色々な環境ラベルの意味を理解できたか</li> <li>● 環境ラベルの役割を考えることができたか</li> <li>● 色々な商品に様々な環境配慮がなされていることを認識できたか</li> <li>● 消費活動を通じて環境に配慮する方法を学んだか</li> </ul>
---

6. 応用のための留意点：

本プログラムは、以後の「ぼくたちわたしたちにできること」に先立ち、グリーンコンシューマーといわれる消費活動という視点から環境への寄与の方法を学ぶものである。

本プログラムは、第5・6年生の家庭科の「暮らし方」や「環境への配慮」に関連づけて発展的に展開することができるが、環境問題において消費活動が市民と社会（産業）との大きな接点であることから、この方向性は今後一層重要になってくると考えられる。

【参考図】

< 環境物品を選ぶ際に参考となる環境ラベル >



< 表示識別マーク >

アルミ缶		スチール缶		PET ボトル	紙製容器包装	プラスチック製容器包装
小形二次電池						塩化ビニル製建設資材
ニカド電池	密閉型ニッケル・水素蓄電池		リチウム二次電池	小形シール鉛蓄電池		
Ni-Cd	Ni-MH		Li-ion	Pb		
記号  があわせて表示される場合があります						
						∞ PVC



# エコエコ買い物大作戦

年	組	名前	
---	---	----	--

なぜ環境ラベルがついているんだろう？

--

どんな商品にどんな工夫がされているかな？

工夫	商品

買い物をする時、どんなことに気をつける？

--

単元名：環境にやさしい製品	学年：5, 6 年生
日付：2005 年 11 月 14 日(月) 時間：1 コマ (4 時限)	場所：地域家電店見学
2005 年 11 月 14 日(月) 2 コマ (5,6 時限)	5・6 年教室

1. プログラムの効果：

- ・環境ラベル調べに意欲をもち取り組んだ。家族の方と調べた児童がいた。
- ・再度、環境ラベルの意味を考えることができた。
- ・買い物という身近な場面を通しながら、環境に配慮できることを具体的に考えることができた。

2. 児童の感想・児童の変化：

「なぜ環境ラベルがついているんだろう？」に対しては

- ・環境に優しい商品というのを示すため。
- ・使う人も分かりやすいから。
- ・できるだけ環境にやさしい商品を買ってほしいから。
- ・石油などをあまり使わなくてもいいから。
- ・地球温暖化などを防げる商品はこれですよとお知らせしている。

「買い物をするとき、環境に配慮するためにはどのようなことに気をつければよいか考えよう。」については

- ・再生紙が使っているノートを買う。
- ・地球温暖化を防ぐためにも、なるべく環境にやさしいマークがついている物を買う。
- ・商品が、地球にいい(やさしい)と書いてあるか確かめる。
- ・ラベルのついている製品が地球にやさしいのだから、環境ラベルが付いているかどうか気をつける。
- ・なるべくラベルが付いている物を買うなどできることから始める。

分かったことは

- ・蛍光灯の方は白熱電球に比べて熱くならないし、節電になっていい。
- ・省エネをすると、CO<sub>2</sub>が減って地球温暖化を防ぐことができる。
- ・テレビを切るとすごく電気を使わないで、コンセントまでぬくともっといい。

感想は、省エネの絵本がよく分かります。テレビのメーター(電力消費量)を0にするには、コンセントを抜かないといけないことも知りました。

家電製品について学習しました。電器製品会社の方にも一緒に説明してもらいました。おもしろい実験をしました。2種類の電球にどれくらい電気が流れているか実験装置を使ってやってもらいました。電球にも省エネの工夫があることがわかりました。また、省エネについて、自分たちにできることが書かれている本をもらいました。教えてもらったことを、家でも実践してみたいなあって思いました。

エコ製品の紹介やどれくらい省エネになるかを聞きました。今日は、特別に電気会社の人にも説明してもらいました。最初、テレビのことを聞きました。テレビのコンセントを抜くと、1年間で1万円くらい省エネができることを知りました。ぼくはテレビをよく見るけど、それだけけっこうお金や石油を使うということがわかりました。

一番心に残ったことは、主電源をこまめに切ると、1年間になんと約1万円の節約になるということです。すごいなあって思いました。

3. プログラムの課題と改良点：

特になし

4. その他考察等：

・9月22日「環境探検隊」での学習を振り返ると同時に、再度、家電店での見学を通して環境ラベルや商品における環境配慮をとらえさせたいと考えた。さらに、(1)～(9)の観点は図表化し掲示しておきたいと考えている。

(1) 長く使える

(2) リサイクルされた製品

・ R100 (ノート)

(3) リサイクルしやすい

(4) 容器や包装がリサイクルされている

(5) 商品の包装が少ない

(6) 繰り返し使える

(7) 自然のことを考えて資源を使っている

・ 大豆油インキ使用(教科書等) グリーンマーク

(8) 使う時に省エネを考えている

・ エコマークが付いている (ペン) ・ 水の量 (洗濯機) ・ 火力調整 (ストーブ)

・ 電力 (家電製品)

(9) 燃やしたとき有害物質がでない

・ はいきガスが少ない (自動車) 有害ガスがでない (雑誌、消しゴム)